

このまちの100年

「八王子」

八王子は江戸期以来、宿場町や交通の要衝としてにぎわい、また生糸・織物の生産地・集積地としても栄えました。多摩地域の中心都市として発展し、現在は産業都市、学園都市、住宅都市など、様々な機能を併せ持つ都市となっています。



昭和10年頃

染色の改善やデザインの研究などが行われた、東京府立染織試験場



昭和戦前期

明治33年に浅川に架けられた、秋川街道の橋。八王子中心部と萩原製糸場を結んだ



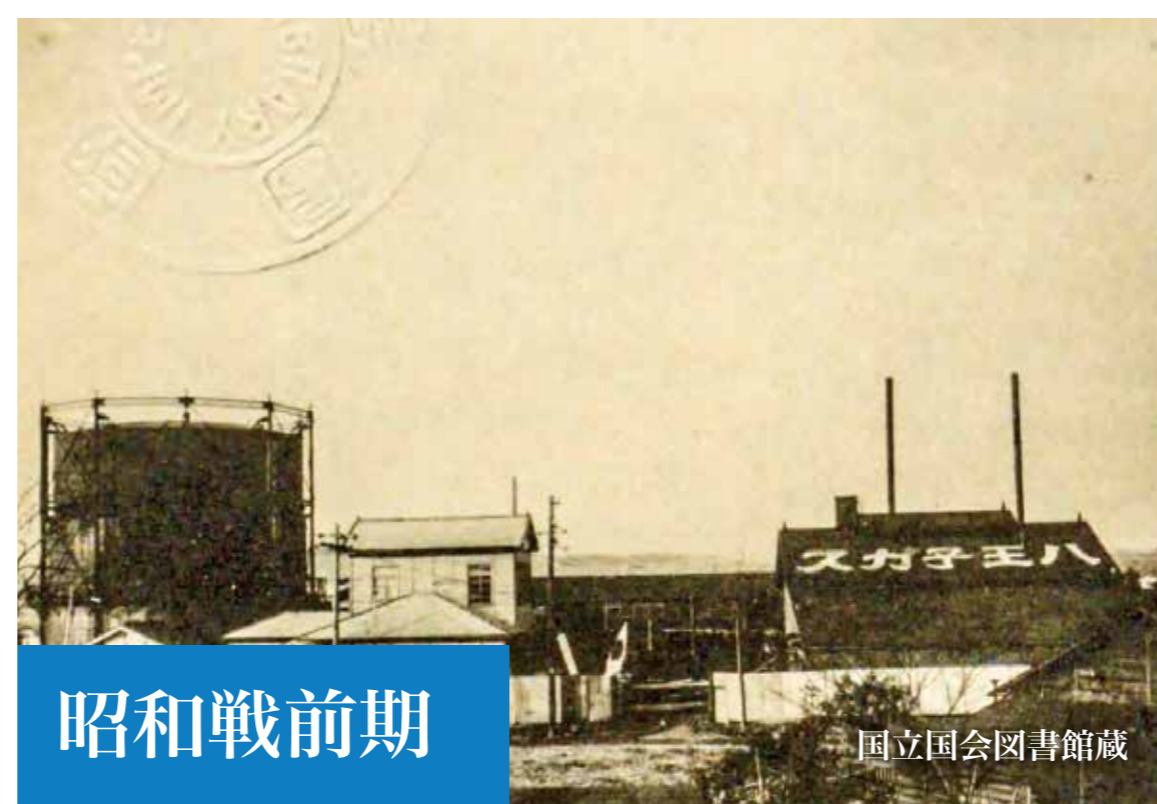
昭和戦前期

有志により植栽や園路などが整備された、富士森公園



昭和戦前期

路面電車と八日町の街並み。写真中央はくまざわ書店発祥の店



昭和戦前期

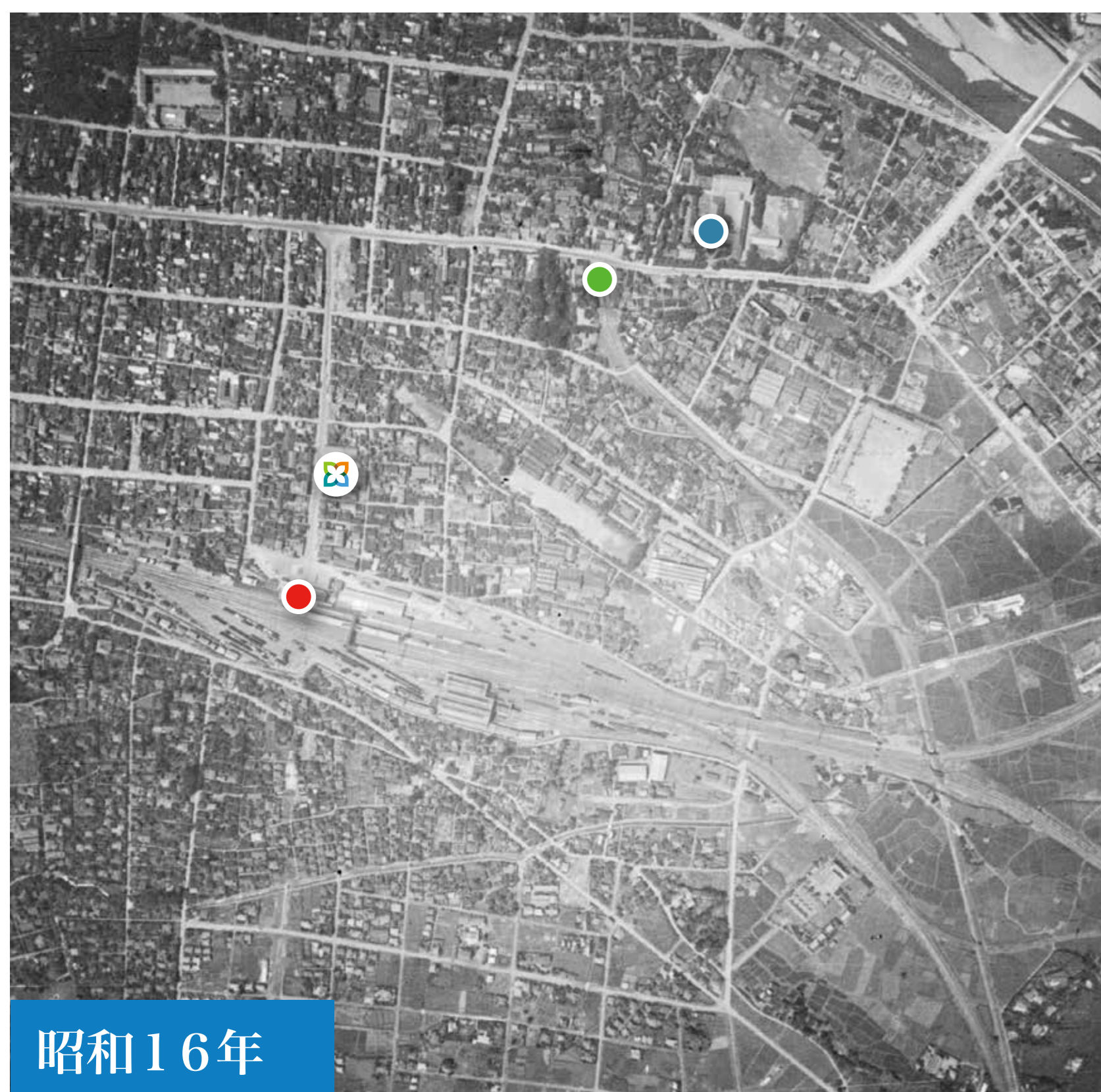
八王子瓦斯の工場が置かれ、終戦までガスを供給していた



昭和43年

八王子駅構内。右に見える電車が中央線、左奥の電車が横浜線

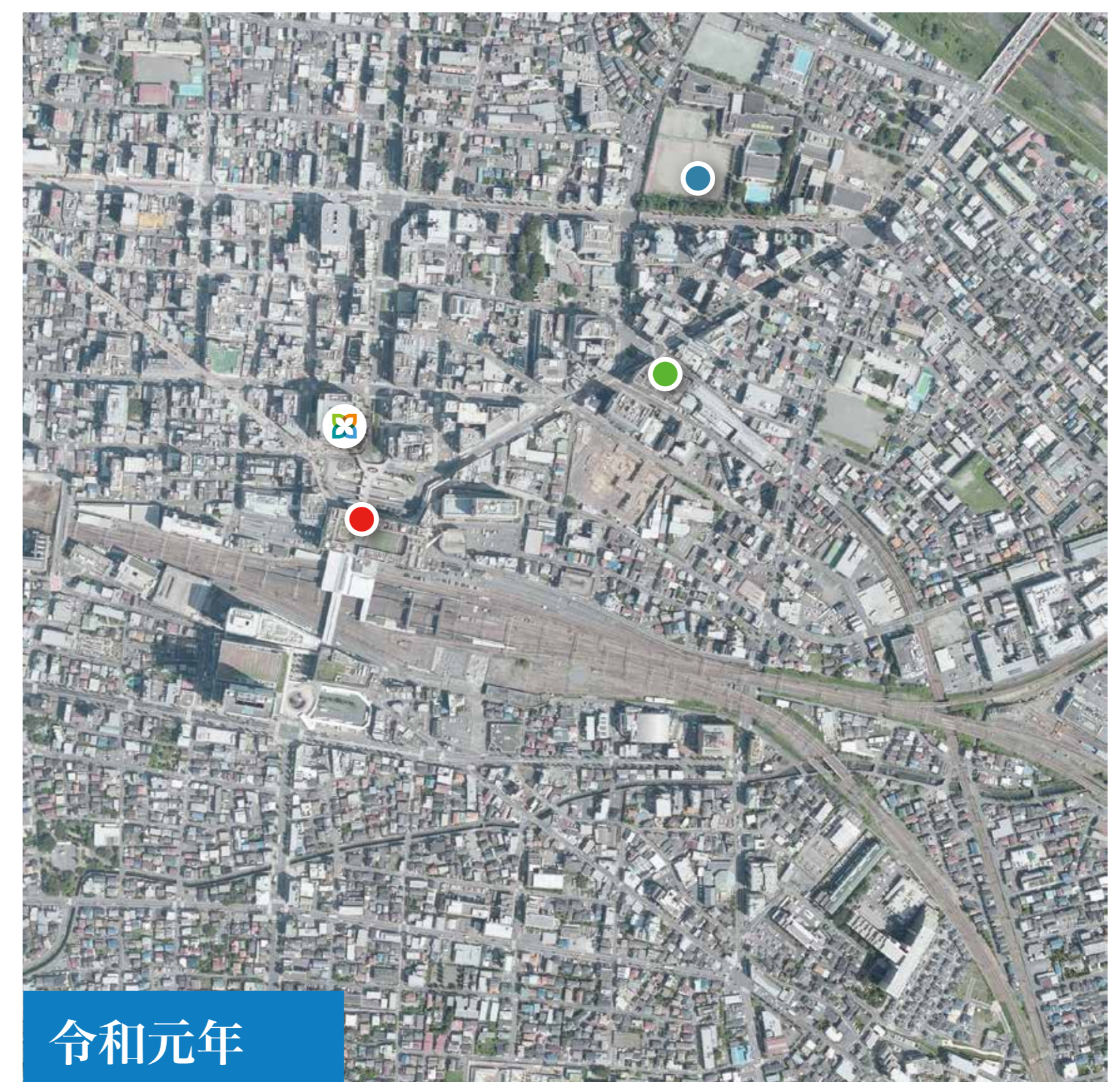
上空からみた八王子エリア



昭和16年



昭和54年



令和元年

● : 現在地
● : 東京府立第四高等女学校 / 東京都立南多摩高等学校 / 東京都立南多摩中等教育学校
● : 東八王子駅 / 京王八王子駅
● : 八王子駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ